

科目名	二級建築士 設計製図					
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING					
単位数	4単位	時間数	64時間	担当者	森行 美枝	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 各建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	△	○				方眼紙を読みとり、㎡計算や畳数を瞬時に算出できる。
	○	○				木造建築の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○				RC建築構造の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○				S造の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○				各構造の矩計図、断面図の特徴と、各部の名称を応えられる
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する	
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する	
	3	本試験出題のイメージ..			エキスと巻末の表現補法を確認	
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する	
	5	記述について、解答文作成のポイント、記述における基本構成...			前回学習したことを復習する	
	6	設問に対して明快に記述する 各種図面について			前回学習したことを復習する	
	7	図面と整合した記述をする			前回学習したことを復習する	
	8	各種図面について 部分詳細図と矩計図			前回学習したことを復習する	
	9	各種図面について 1階床仕上げが変更になった場合			前回学習したことを復習する	
	10	各種図面について 建物条件に変化があった場合			前回学習したことを復習する	
	11	各種図面について断面図について			前回学習したことを復習する	
	12	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイント			前回学習したことを復習する	
	13	共通項目 設計製図試験の概要 不合格の図面とは			自己採点表を配布事前に確認させ、減点項目を知っておく。	
	14	共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向			試験当時配布プリントを配布確認	
	15	共通項目 設計製図試験の概要 近年の出題傾向			高齢者に向けた対応を調べさせる。	
	16	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのしかた			テキストを忘れないように	
	17	共通項目 製図を始める前に (ビデオ)様々な表現			表現方法テキストで確認	
	18	線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認	
	19	外構、植栽等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認	
	20	家具・設備機器等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認	
	21	設計製図試験における関連法規			建築基準法法令集持参確認	
	22	木造 木造専用住宅 構造計画 配置計画と外部動線				
	23	木造 木造専用住宅 平面計画				
	24	木造 木造専用住宅 課題文の読み取り、			色鉛筆 蛍光ペン準備	

授業計画	25	木造 木造専用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方	前回学習したことを復習する
	26	木造 木造併用住宅 構造計画 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する
	27	木造 木造併用住宅 平面計画	前回学習したことを復習する
	28	木造 木造併用住宅課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する
	29	木造 木造併用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方	前回学習したことを復習する
	30	木造 要求図面 要求図面の描き方	テキスト熟読する
	31	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	32	木造 要求図面 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	33	木造 要求図面 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	34	木造 要求図面 2階床伏せ図兼1階小屋伏せ図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	35	木造 要求図面 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	36	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要	前回学習したことを復習する
	37	ラーメン構造 構造 計画	前回学習したことを復習する
	38	ラーメン構造 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する
	39	ラーメン構造 平面計画	前回学習したことを復習する
	40	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する
	41	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	42	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	43	鉄筋コンクリート造 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	44	鉄筋コンクリート造 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	45	鉄筋コンクリート造 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	46	鉄骨造(S造)	
	47	鉄骨造(S造)(RC造) 概要	6月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	48	純ラーメン構造 構造 計画	法令集持参、関連法規に注意させる
	49	純ラーメン構造 配置計画と外部動線	建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。
	50	純ラーメン構造 平面計画	建築構造テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。
	51	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、	事例をもとに解説、プリントうはファイリングの支持をする。
	52	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方	11月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	53	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)	12月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	54	鉄骨造(S造) 立面図	図面のチェックと修正
	55	鉄骨造(S造) 断面図	図面のチェックと修正
	56	鉄骨造(S造) 部分詳細図	図面のチェックと修正
57	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き	テキスト巻末課題準備	
58	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備	
59	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備	
60	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習	
61	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き	図面のチェックと修正	
62	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正	
63	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正	
64	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習	

評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題①	○	◎				40%
	チャレンジ課題②	○	◎				30%
履修上の注意	出席率60%未満の者には単位を付与しない。						

科目名	二級建築士 設計製図演習				
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING				
単位数	20単位	時間数	308時間	担当者	森行 美枝
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	設計製図試験に対応した基礎理論と課題図面の解説、また試験に対応した模擬試験の演習と解説を通し、実務レベルの専門技術の習得を図る				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○	○		
	○	○			
	○	○			
		○	○		
	目標				
	過去の2級建築士製図試験出題図面を、正しく作図することができる				
	1時間以内でエスキスをチェックリストをもとに、計画することができる。				
	15分以内に設計趣旨を文書化できる。				
	正確な面積計算や、各要求スペースを指面積内で作成できる。				
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する
	2	設計製図試験の概要			
	3	建築物のエスキス方法の確認			オリジナルテキスト参照させる
	4	関係建築物VTR 鑑賞			必要部分メモ指導
	5	模擬試験1	問題読→エスキス	→チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	6	模擬試験1	平面図より作図	1階	時間内作図に集中
	7	模擬試験1	平面図より作図	2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	8	模擬試験1	立面、断面、床組兼小屋伏図	製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	9	模擬試験1	の解説		
	10	模擬試験1	各自の添削図面をもちよりグループ学習		情報共有
	11	模擬試験1	各自の添削図面をもちよりグループ学習		情報共有
	12	模擬試験1	全体で情報共有。未完成者指導		完成まで 居残り学習
	13	模擬試験2	問題読→エスキス	→チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	14	模擬試験2	平面図より作図	1階	時間内作図に集中
	15	模擬試験2	平面図より作図	2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	16	模擬試験2	立面、断面、床組兼小屋伏図	製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	17	模擬試験2	の解説		
	18	模擬試験2	各自の添削図面をもちよりグループ学習		情報共有
	19	模擬試験2	各自の添削図面をもちよりグループ学習		情報共有
	20	模擬試験2	全体で情報共有。未完成者指導		完成まで 居残り学習
	21	模擬試験3	問題読→エスキス	→チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	22	模擬試験3	平面図より作図	1階	時間内作図に集中
	23	模擬試験3	平面図より作図	2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	24	模擬試験3	立面、断面、床組兼小屋伏図	製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	25	模擬試験3	の解説		

授業計画	26	模擬試験3 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	27	模擬試験3 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	28	模擬試験3 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
	29	模擬試験4 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	30	模擬試験4 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	31	模擬試験4 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	32	模擬試験4 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	33	模擬試験4 の解説	
	34	模擬試験4 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	35	模擬試験4 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	36	模擬試験4 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
	37	模擬試験5 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	38	模擬試験5 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	39	模擬試験5 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	40	模擬試験 5 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	41	模擬試験 5 の解説	
	42	模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	43	模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	44	模擬試験5 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
	45	模擬試験6 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	46	模擬試験6 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	47	模擬試験6 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	48	模擬試験 6 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	49	模擬試験 6 の解説	
	50	模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	51	模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	52	模擬試験6 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
	53	模擬試験7 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	54	模擬試験7 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	55	模擬試験7 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	56	模擬試験7 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	57	模擬試験7 の解説	
	58	模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	59	模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	60	模擬試験7 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
	61	出張型模擬試験 9:30集合 本番模擬試験 説明	天神会場へ製図版持ち込み移動
	62	公開模試試験	事前にテキスト確認する
	63	公開模試試験	
	64	公開模試試験	
	65	公開模試試験 終了後自由解散	提出し、採点結果 後日送付
	66	模擬試験8 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	67	模擬試験8 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	68	模擬試験8 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック

69	模擬試験8 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
70	模擬試験8 の解説	
71	模擬試験8 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
72	模擬試験8各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
73	模擬試験8 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
74	模擬試験9 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
75	模擬試験9 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
76	模擬試験9 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
77	模擬試験9 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
78	模擬試験9の解説	
79	模擬試験9 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
80	模擬試験9 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
81	模擬試験9 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
82	模擬試験10 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
83	模擬試験10 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
84	模擬試験10 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
85	模擬試験10 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
86	模擬試験10 の解説	
87	模擬試験10 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
88	模擬試験10 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
89	模擬試験10 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
90	模擬試験11 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
91	模擬試験11 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
92	模擬試験11 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
93	模擬試験11 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
94	模擬試験11 の解説	
95	模擬試験11 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
96	模擬試験11 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
97	模擬試験11 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
98	模擬試験12 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
99	模擬試験12 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
100	模擬試験12 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
101	模擬試験 12 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
102	模擬試験 12 の解説	
103	模擬試験12 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
104	模擬試験12 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
105	模擬試験12 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
106	模擬試験13 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
107	模擬試験13 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
108	模擬試験13 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
109	模擬試験 13 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
110	模擬試験 13 の解説	
111	模擬試験13 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有

112	模擬試験13 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
113	模擬試験13 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
114	模擬試験14 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
115	模擬試験14 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
116	模擬試験14 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
117	模擬試験14 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
118	模擬試験14 の解説	
119	模擬試験14 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
120	模擬試験14 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
121	模擬試験14 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習
122	本試験注意事項説明	受験票確認 交通方法確認 持ち物確認
123	直前問題 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	図面のチェックと修正
124	直前問題 平面図より作図 1階	図面のチェックと修正
125	直前問題 平面図より作図 2階	図面のチェックと修正
126	直前問題 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	図面のチェックと修正
127	質疑応答	質問紙事前提出
128	本試験終了後 学校へ帰り、エスキスチェック 自己採点 終了	12月の発表まで待つ
評価方法	(1)練習課題の完成度 (2)模擬試験 (3)2級建築士本試験 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	
		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合
	練習課題	○ ◎ ○ ○ ○ ○ 60%
	模擬試験	○ ◎ ○ ○ ○ ○ 30%
	2級建築士本試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ 10%
履修上の注意	原則、本試験受験が単位認定の付与条件。	

科目名	特別講座 I (施工管理) 選択					
科目名(英)						
単位数	8単位	時間数	128時間	担当者	橘 俊明	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	2施工_学科試験合格を視野に、問題読解に必要な基本的な知識を要点を絞り込んで身につけていきます。また、理解度確認のため小テスト、模擬テストを複数回、実施し実力をつけていきます。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。
	○	○				小テストの平均正解率60%以上を獲得できる。
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト(2019年度版)市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集(2019年度版)市ヶ谷出版社					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	建築学 / 環境工学 / 構造力学 / 一般構造 / 建築材料			・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内容に係る複数回、小テスト・模擬テストを実施するので、復習しておくこと	
	2	練習問題、確認テスト				
	3	共通 / 舗装・植栽工事 / 建築設備				
	4	練習問題、確認テスト				
	5	設計図書・測量/建築法規 / 建築基準/労働基準法				
	6	練習問題、確認テスト				
	7	労働安全衛生法/ 環境保全関係法、その他				
	8	練習問題、確認テスト				
	9	施工管理法/ 施工計画/工程管理 /品質管理/ 安全管理				
	10	練習問題、確認テスト				
	11	建築施工 / 地盤調査 / 仮設工事/地業/ 土工事				
	12	練習問題、確認テスト				
	13	鉄筋コンクリート工事 / 特殊コンクリート工事				
	14	練習問題、確認テスト				
	15	鉄骨工事 / 木工事 / 防水工事、石工事 / タイル工事、屋根工事				
	16	練習問題、確認テスト				
	17	金属工事、左官工事 / 建具工事、塗装工事				
	18	練習問題、確認テスト				
	19	内外装工事、建設機械				
20	練習問題、確認テスト					

評価方法	(1)授業の中で小テストを基本毎回、実施する。(2)確認テスト(模擬テスト)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト		◎				30%
	確認テスト(模擬テスト)		◎				70%
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。						

科目名	特別講座Ⅱ(インターンシップ)選択					
科目名(英)						
単位数	28単位	時間数	424時間	担当者	各クラス担任	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	<p>社会人基礎力とは、経済産業省よって「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」(「社会人基礎力」)を定義した「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力です。</p> <p>社会人として仕事を進めていく過程で、この3つの能力を常に意識して、自ら成長しましょう。</p>					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				「前に踏み出す力」(アクション)
		○				「考え抜く力」(シンキング)
		○				「チームで働く力」(チームワーク)
テキスト・教材 参考図書	参考:GCBテキスト 就職活動ガイドブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
		1. 「前に踏み出す力」(アクション)				
		2. 「考え抜く力」(シンキング)				
		3. 「チームで働く力」(チームワーク)				
		前に踏み出す力(アクション)主体性 (物事に進んで取り組む力)				
		前に踏み出す力(アクション)働きかけ力 (他人に働きかけ、目的に前進する力)				
		前に踏み出す力(アクション)実行力 (目的を設定し、確実に行動する力)				
	1	考え抜く力(シンキング)課題発見力 (現状を分析し、目的や課題を明らかにする力)				
	5	考え抜く力(シンキング)計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力)				
	2	考え抜く力(シンキング)創造力 (新しい価値を生み出す力)				
	1	チームで働く力(チームワーク)(自分の意見をわかりやすく伝える力)				
	2	チームで働く力(チームワーク)傾聴力 (相手の意見を丁寧に聴く力)				
		チームで働く力(チームワーク)規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)				

	チームで働く力(チームワーク)規律性 ストレスコントロール力 (ストレスの発生源に対応する力)						
評価方法	(1) インターンシップ連携先における評価 (2) インターンシップ内で求められる職務内容の達成(連携企業別の事前確認) 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	業務報告・評価報告	○	○				30%
	インターンシップ先評価	○	○				70%
履修上の注意							

科目名	特別講座Ⅲ(卒業制作)選択					
科目名(英)						
単位数	28単位	時間数	424時間	担当者	森行 美枝	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	在学中に修得した建築や造形デザインの知識、技術、センスを活かして、その集大成を研究をとおして卒業設計・論文にまとめる。建築・造形という分野の中で研究の意義を熟考した上でテーマを選定し、担当教員の助言・指導のもと調査・研究を進める。成果は最終的に作品/パネルや模型あるいは研究論文としてまとめ、研究発表を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○			卒業研究を通して、設計者、技術者、研究者として必要となる洞察力や表現力を身につけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	『建築学の基礎7 建築防災』大宮喜文,共立出版					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
		全体および卒業研究グループ(ゼミ)でのオリエンテーション (全教員)			卒業研究グループ(ゼミ)ごとに、指導教官のもとで課題設定、調査、研究、考察、提案をおこない定期的に報告を行う。	
		課題設定				
		調査、研究1				
		調査、研究2				
		プログラム1				
		エスキス1				
		コンセプト1				
		プランニング1				
		中間報告				
		調査、研究3				
		コンセプト2				
		プランニング2				
		中間発表 ポスターセッション				
		プレゼンテーション1				
	プレゼンテーション2					
	最終発表、講評、審査					
評価方法	■必要学習時間の目安424時間「作品課題」または「研究論文」					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	制作作品 成果	○	○			
						評価割合
						100%
履修上の注意	卒業研究は、当該年度卒業が見込めるまで学習が進捗していることが履修要件になります。					

科目名	特別講座Ⅳ(就職実務)選択					
科目名(英)						
単位数	28単位	時間数	424時間	担当者	クラス担任	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 具体的には就職活動における基礎的な振る舞いを身に着け、習慣化する					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				就職活動に必要な自己分析を行うことができる
	○	○				基本的な面接対応ができる
		○				メール対応など、就職活動に必要なコミュニケーション知識がある
	○	○				企業研究の方法を知っている
	○				学校求人を利用するための条件を知っている	
テキスト・教材 参考図書	学校支給のGCBテキスト 就職活動ガイドブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
		就職活動における心構え / 働くということを考える 知る			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 自分が働く業界の形態や常識を知る			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 業界に必要なサービスとは			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 業界に必要なスキルとは			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 作品集の価値とは			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 作品集をイメージする1			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 作品集をイメージする2			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動における心構え / 自分の作品集計画を見つめ直す			就職活動ガイドブック熟読する	
		履歴書 / 自己分析 自己PR			就職活動ガイドブック熟読する	
		履歴書 / 自己分析 得意分野 特記事項			就職活動ガイドブック熟読する	
		履歴書 / 自己分析を履歴書としてまとめる			就職活動ガイドブック熟読する	
		面接練習 / 面接の重要性 意味を知る			就職活動ガイドブック熟読する	
		面接練習 / 入退室の練習			就職活動ガイドブック熟読する	
		面接練習 / 面接練習を各自実施 履歴書の内容を話すトレーニング			就職活動ガイドブック熟読する	
		就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達				
		就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達				
	1 5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達				
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達				
	1 2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達				
	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					

	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	社会人研修						
	面接練習 / 面接練習を各自実施 履歴書の内容を話すトレーニング		就職活動ガイドブック熟読する				
評価方法	課題の提出を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題の提出	○	○				100%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						